

感染対策できていますか？

感染性胃腸炎を広げないための4つのポイント

手洗い

感染対策の基本です
石けんと流水で手を
よく洗いましょう

食事前、排便後、汚物処理の後
などはとくにしっかり洗い、
タオルの共用は避けましょう

正しい手の洗い方
はこちら



環境消毒

次亜塩素酸ナトリウム
(0.02%) を用いて
手が触れやすい場所を
拭いて消毒しましょう

例 手すり、ドアノブ
エレベーターのボタン
トイレの水洗レバー
スイッチ類 など

嘔吐物等の処理

使い捨ての防護具を着用後

次亜塩素酸ナトリウム
(0.1%) を用いて消毒し、
併せてしっかり換気をしましょう

汚染箇所は放置せず、
速やかに処理してください

情報の管理

日頃からの健康観察、
職員間の情報共有を徹底し、
胃腸炎症状を見逃さない
ようにしましょう

流行期の嘔吐・下痢は
感染性を疑って対応すること
を推奨します

千葉市の流行情報
はこちら



施設全体で予防に取り組みましょう

チェックリストも
ご活用ください👉



千葉市保健所 感染症対策課

TEL : 043-307-5086 mail : kansensho.PHO@city.chiba.lg.jp